

平成 27 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

Table with columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後). Content includes '商工会との連携事業' and '久山町商工会及び商工事業者'.

Table with columns: 事業費及び財源内訳 (千円), 事業活動の実績 (活動指標). Includes sub-tables for '事業費' (Direct, Personnel, Total) and '財源内訳' (National, Prefecture, Local, etc.).

Table showing '向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)' with columns for 28, 29, 30, 31, 32 degrees and a 5-year total.

Table for '成果指標' and '指標設定の考え方'. Includes a timeline from 26 to 32 degrees and a target year. Content: '商品券事業によって経済効果や満足感を感じられた商工業者の割合'.

今年度の課題への対応状況 (途中経過)

Main evaluation table with columns: 事業の事業, 自己評価(担当者), 一次評価(所属長), 評価. Includes sub-tables for '妥当性', '有効性', '効率性' and '目的の妥当性', '町民ニーズへの対応', etc. Includes a large arrow pointing from the '指標設定の考え方' table to this section.

事務事業名	商工会との連携事業	予算事業名	商工会との連携事業	担当課	魅力づくり推進課
会計名称	一般会計	予算科目	7 款 1 項 1 目	所属長名	矢山 良寛
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる 商工業の振興			担当責任者名（記入者）	久芳 文香
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等		
事業の対象	久山町商工会及び商工事業者		実施期間	【開始年度】	平成 25 年度
事業の目的	久山町商工会への活動支援を行うとともに、新たに商工振興につながる取り組みを商工会と連携して行うことによって町の商工業の活性化を図る。		事業の内容	町の商工振興について、商工会と協働で進める事業を協議し、実施していく。	
改善策の具体的な取り組み（当初）			改善策の具体的な取り組み（二次評価後）		

（自己評価） 担当者評価	妥当性	目的の妥当性 3 町民ニーズへの対応 2 町の関与の妥当性 4	C	C	目的の妥当性 3 町民ニーズへの対応 3 町の関与の妥当性 3	妥当性	一次所属長評価	
	有効性	事業の効果 3 成果向上の可能性 3 施策への貢献度 3	C		B	事業の効果 4 成果向上の可能性 3 施策への貢献度 4		有効性
	効率性	手段の最適性 3 コスト効率 3 受益者負担の適正 3	C		C	手段の最適性 2 コスト効率 3 受益者負担の適正 3		効率性
課題認識	商品券事業の効果を感じられた事業者の割合が思ったほど高くなかったことから、その改善策について商工会と意見交換をし、効果が上がるようにしていく必要がある。また、商品券発行やイベント開催以外の連携事業として、商工会や各会員の紹介・PRに取り組みたかったが、具体的に進められなかった。それぞれの持つ広報媒体の活用や、新しいPR手段の検討を28年度において進めていきたい。			自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。	商品券事業としては、一定の成果を上げていると考えるが、商工会としての継続的な発展を目指していくためには、長期的な取り組みの検討が必要だと考える。			

施策を踏まえた判断	二次評価	<input type="checkbox"/> 一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/> 市民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <p>商工会全体が活気がでる内容にしていくべきと考える。そのため、町内中小規模店舗での利用を促進するための町民へのPR等の工夫やイベントとの連携等を検討し、真の意味で効果の実感できる商品券のシステムへと改善すべきである。また、行政と町民と商工業者間の人間関係、信頼関係をイベント等を通じて改善を図っているということは理解したので、評価指標に住民と商工業者の関係強化、密接度を何らかの方法で測られることを望む。</p>
------------	------	---

経営者会議の最終判断	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄	<input type="checkbox"/> 活用率を含めた効果の上昇に商工会との意見交換が必要ならばすぐに行うこと。 <input type="checkbox"/> プレミアム商品券の本来の目的を認識し商工会への指導を行うこと。 <input type="checkbox"/> 商工会の活動について協議を行い指導強化を行うこと。
------------	--------	--	-------	---